

令和四年度 滋賀県立草津東高等学校普通科 特色選抜 小論文 問題

【注意】

- ・ 問題用紙、解答用紙、下書き用紙の三枚とも受検番号を算用数字で記入しなさい。
- ・ 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- ・ 問の答えは、原稿用紙の正しい使い方に従って書きなさい。（名前は書かないこと。）

受検番号

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

セレンディピティとは、科学者の間でよく使われている言葉です。日本語に訳すのは難しいのですが、たまたま出会ったことから研究が大きく進んでいくというイメージでとらえてください。「思わぬ発展につながる偶然」とでも訳せましょうか。その偶然が実は大事で、偶然に導かれて研究が発展するのです。

研究者が当初から問題意識を持っていて、「これはどうすればいいのかな？」と考えていると、あるときたまたま見つけたものにひらめきを感じ、「あつ、これが役に立つんだ」と気づいて、行き詰まっていた研究に突破口が開かれる。研究が大きく飛躍するきっかけは偶然の出合いによることが多く、その偶然の出合いのことをセレンディピティと呼んでいます。

ただし、偶然といっても、それは研究者が何もしないでたまたま思いつくというものではありません。一生懸命に研究していると、不思議とそういう出合いに恵まれるのです。

ニュートンがリンゴが落ちるのを見て、それを当たり前だと見過ごさず、「なぜ落ちるんだろう？」と研究し、万有引力の法則の発見につながったという逸話があります。本当にあったことなのか、実は曖昧なのですが、この場合、リンゴが落ちるところに出くわしたのがセレンディピティです。

(中略)

このセレンディピティの話は、多くの人に当てはまると思います。勉強嫌いだったのに、ちょっとしたきっかけで勉強が好きになったという人もいますよね。

そのちょっとしたきっかけとは、教え方の中でも上手な先生に出会ったとか、受験対策で始めた勉強なのにいつの間にかその科目の魅力にとりつかれたとか、海外に行つてカルチャーショックを受け、日本についてもっと知りたくなったとか、本人が予想していなかった偶然であることが多いのです。

学びの楽しさを知るきっかけは人それぞれだとしても、多くの場合、出合いは偶然に訪れます。だとしたら、若いうちにその偶然、つまり「チャンス」に恵まれた人は運がいいと思います。

学ぶことがおもしろいと思えるようになったらもうしめたもの。おもしろいことは長続きします。あとは放っておいても自分から学んでいくようになるものです。若いときに、そういうおもしろいことを一つでも見つけて、それを深く掘り下げたり、それに関わるテーマに興味や関心を広げていったりしたら、年を重ねるごとに教養が身についていくことでしょう。

池上 彰 『なんのために学ぶのか』による。

問 「セレンディピティ」を得るにはどのようなことが必要だと考えますか。自分自身の「セレンディピティ」の経験を挙げたうえで、次の条件(1)、(2)に従ってあなたの考えを述べなさい。

条件

- (1) あなたの考えの根拠としてふさわしい経験を挙げること。
- (2) 二百四十字以上、三百字以内で述べること。

